

科目名	災害・防災危機管理特論			分野・必選別・単位数	専門科目	選択	2単位
担当教員	◎教授 橋田要一 教授 大滝恭弘 教授 國府田洋明 准教授 茂呂浩光 講師 高梨利満 講師 菊川忠臣					科目ナンバー	T5C107
課程	修士	配当年次	1年	配当学期	後期	授業方法	講義
授業の概要	過去の様々な国内外災害事例から、課題・教訓を分析し、今後の災害・防災計画や方向性を探求する。現場トリアージ、現場救護所の運営、テロ災害・CBRNE災害への対応のあり方、国際緊急援助隊としての役割、防災関連機関との連携、DMATとの連携、災害時の病院前救急救護体制のあり方などマネジメント能力を涵養する。						
授業の到達目標	① 集団災害現場における病院前救急救護体制の基本的活動のあり方・概念をプレゼンテーションできる。 ② 過去の国内外の災害事例の特性と課題を見出し、その対応策を提言できる。 ③ 防災関係機関及びDMATとの連携及び現場における災害マネジメントができる。						
授業計画	回数	担当者		行動目標			
	1	橋田 要一	教授	災害総論・災害健康危機管理の定義と戦略、災害のサイクル、災害現場管理、DMATはじめ関係防災機関との連携の基本概念を説明できる。			
	2	橋田 要一	教授	大事故災害現場活動の現場管理(指揮・部隊管理・関係機関との連携)、現場救護所・トリアージなどの現場業務管理のあり方及び基本概念を説明できる。			
	3	茂呂 浩光	准教授	集団災害現場における指揮者の指揮者の責任と役割、現場指揮活動等の基本概念が説明できる。			
	4	高梨 利満	講師	過去の大型バスなどの集団災害事例から現場管理・現場業務管理などのクライシス・マネジメントのあり方及び基本概念を説明できる。			
	5	菊川 忠臣	講師	過去の大型バスなどの集団災害事例から現場管理・現場業務管理などのクライシス・マネジメントのあり方及び基本概念を説明できる。			
	6	橋田 要一	教授	テロ・CBRNE災害の現場管理・現場業務管理などのクライシス・マネジメントのあり方及び基本概念を説明できる。			
	7	橋田 要一	教授	過去のテロ・CBRNE災害事例から現場管理・現場業務管理などのクライシス・マネジメントのあり方及び基本概念を説明できる。			
	8	高梨 利満	講師	過去の電車事故の集団災害事例から現場管理・現場業務管理などのクライシス・マネジメントのあり方及び基本概念を説明できる。			
	9	菊川 忠臣	講師	過去の航空機事故の集団災害事例から現場管理・現場業務管理などのクライシス・マネジメントのあり方及び基本概念を説明できる。			
	10	橋田 要一	教授	過去の複数傷病者が点在する人為的大事故災害事例から現場管理・現場業務管理などのクライシス・マネジメントのあり方及び基本概念を説明できる。			
	11	國府田洋明	教授	過去の複合災害による集団災害事例から現場管理・現場業務管理などのクライシス・マネジメントのあり方及び基本概念を説明できる。			
	12	高梨 利満	講師	過去の自然災害(震災・噴火など)事例の分析から災害特性と課題、対策を提言できる。			
	13	國府田洋明	教授	緊急援助隊及び国際緊急援助隊の役割について、基本的概念が説明できる。			
	14	橋田 要一	教授	過去の海外災害事例の分析から災害特性と課題、対策を提言できる。			
	15	大滝 恭弘	教授	日本の災害対策基本法など大規模災害に関わる法律の基本概念を説明できる。			
事前事後学修の内容およびそれに必要な時間	【事前学修】	指定したテキストの次回授業部分を事前に読んでおくこと。 次回の授業内容を予習し、用語の意味等を理解しておくこと。					
	【事後学修】	授業中の疑問点をまとめ、参考書等を利用し、次回授業までに解決しておくこと。					
	【必要時間】	当該期間に30時間以上の予復習が必要。					
教科書	随時 指示する。						
参考書	「災害・健康危機管理ハンドブック」編集 石井 昇、奥寺 敬、箱崎幸也 診断と治療社 「災害対処・医療救護」編集 小井戸雄一、箱崎幸也、林 宗博、横山正巳 診断と治療社 「NBCテロ・災害対処」編集 奥村 徹、小井戸雄一、佐田 英成、鈴木澄男、中村勝美、箱崎幸也 診断と治療社						
成績評価の方法および基準	レポート50%、講義内でのプレゼンテーション30%、質疑応答20%						
その他履修上の注意事項	試験やレポート等に対し、講義の中での解説等のフィードバックを行う。 カリキュラムマップのDP4が、この科目と本専攻の学位授与方針との関連を示している。						